

事業概要（設立時から）

1. 酪農経営発表コンクール

昭和45年2月に第1回酪農経営発表コンクールを開催（平成11年5月・30回）し、延べ開催回数は58回に及び北海道から沖縄まで全国各地域で約30年間にわたり開催してきた。平成11年5月の第30回大会を最後に終了した。

それまで当コンクールに参加した酪農家は640名を数え、参集者は延べ15,500名である。

回を追ってその内容も充実向上し、発表要旨発刊も20,500部を越え、全国の酪農家及び関係各界に配布し、優良酪農牧場の経営内容を広く紹介し、酪農振興発展に貢献してきた。

昭和47年第4回からは農林省後援・農林水産祭参加が認められ当協会発表者から

昭和51年第7回清水勝氏（北海道）が日本農林漁業振興協会会長賞

昭和60年第16回渡辺守彦氏（北海道）が内閣総理大臣賞

昭和63年第19回坂井敏明氏（北海道）が日本農林漁業振興協会賞

平成元年第20回菊池利憲氏（北海道）が日本農林漁業振興協会賞

平成6年第26回中井常夫氏（奈良県）が日本農林漁業振興協会賞

平成11年第30回池田邦雄氏（北海道）が天皇杯

をそれぞれ受賞し、当協会コンクールの質の高さが評価されている。

昭和40年代は、水田酪農と規模拡大

昭和50年代前半は、専門化・複合経営、後半は飼養管理技術と乳肉複合経営

昭和60年前半は、地域との結びつきによる経営・高品質生乳生産

平成に入り、ゆとり・国際競争力

と、その発表内容もその時代時代の課題解決がテーマとなり、その事例は酪農家に大いに参考となっている。

2. 酪農経営発表大会

平成12年度にコンクール形式から酪農経営発表大会に改め、各地で優秀な経営を實踐している酪農家の中から、収益面のみではなく特徴のある取組みを重視した選定を行い、発表会を開催している。

平成12年度北海道佐呂間町

平成13年度熊本県人吉市

平成14年度長野県安曇郡穂高町

平成15年度北海道十勝郡浦幌町

平成16年度徳島県麻植郡鴨島町

平成17年度群馬県前橋市

平成19年度宮城県仙台市

平成21年度熊本県菊池郡大津町

平成23年度長野県安曇野市

平成25年度兵庫県神戸市

平成27年度北海道帯広市

3. 海外酪農事情調査

昭和42年より現在まで延べ377名に対し、オセアニア・ヨーロッパ・アメリカ・アジア等を中心とした諸外国の酪農事情調査を委嘱し、我が国酪農振興の一助として寄与してきた。

平成13年3月には、日米酪農家交流会を開催し、アメリカの酪農・乳業に関する情報の収集、酪農技術の習得を図った。

また平成16年9月には、アメリカで開催されたワールドデーリエキスポ2004の視察研修を行い、またアメリカ酪農現場などの視察も行った。

4. 酪農後継者研修事業

昭和42年～46年	北海道・都府県交流方式	314名
昭和46年～57年	那須酪農研修センター	119名
昭和57年～	集合研修から全国交流方式に変更	17名

5. 酪農講演会

全国各地で153回開催

20年度は、「創立40周年記念講演会」と北海道・宮城・松本・奈良・熊本の全国6箇所で開催を行った。

6. 受精卵移植技術研究への支援

昭和59年より山口大学等を初め、受精卵移植技術の普及に支援をしてきた。

以上